

## 1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容					
1	作 成 単 位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位（会社コード単位）					
2	フォーマット形式	3.5インチFD				CD-R	MO
		2HD		2DD			
		1.25 MB	1.44 MB	640 KB	720 KB	650 MB	128 MB
3	最大出力件数 （圧縮時）	2,400 レコード*	2,800 レコード*	1,200 レコード*			
		(19,200 レコード*)	(22,400 レコード*)	(15,000レコード*)			
4	使用コード	MS-DOS：JISコード* IBM：EBCDICコード*				MS-DOS：JISコード	
5	レコード長	MS-DOS：固定長 512バイト+2バイト （復帰、改行コード*が付加されます） IBM：固定長。512バイト				MS-DOS：固定長 512バイト+2バイト （復帰、改行コード*が付加されます）	
6	ファイル形式	MS-DOS： 固定長テキストファイル形式 IBM： 固定長ファイル形式 （1枚に収めきれない場合は同 一ファイル名で、複数枚作成しま す。）				MS-DOS： 固定長テキストファイル形式	
7	ファイル名	【FD、MO、CD-R】 A+会社コード*（会社コード→弊社がお客さま識別するために付与した識別コード 5桁） 例：A12345 圧縮時：A+会社コード*+拡張子 例：A12345nn.exe（nn：FD作成通番。01～99）					

## &lt;圧縮について&gt;

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

## 【圧縮したデータの解凍手順】

- （1） 実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2） 実行ファイルが自動的に法人サービス番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

## 2. ファイル構成

管理 レコード	請求 単位 データ 1	～	請求 単位 データ n	会社 合計 レコード
------------	----------------------	---	----------------------	------------------

法人 サービス 利用者 番号 別内 訳レ コード 1 番 目	法人 サービス 利用者 番号 別内 訳レ コード 2 番 目	～	法人 サービス 利用者 番号 別内 訳レ コード 2 番 目	～	法人 サービス 利用者 番号 別内 訳レ コード 1 番 目	法人 サービス 利用者 番号 別内 訳レ コード 2 番 目	～	法人 サービス 利用者 番号 別内 訳レ コード 2 番 目	請求 書作成 番号合 計レ コード 1 番 目	請求 書作成 番号合 計レ コード 2 1 番 目	～	請求 書作成 番号合 計レ コード 2 N 番 目
法人サービス 利用者番号 1 番目			法人サービス 利用者番号 N 番目			法人サービス 利用者番号 N 番目			ご請求番号 1 番目			

1. 同一法人サービス利用者番号の情報が、「法人サービス利用者番号別内訳レコード」に収まらない時、オーバー分を「法人サービス利用者番号別内訳レコード2」として格納する。
2. 又、「法人サービス利用者番号別内訳レコード2」は複数レコード存在する場合があります、「法人サービス利用者番号別内訳レコード」から「レコードN O」をシーケンスで付与する。
3. 請求書作成番号合計レコードも上記と同様の構成となる。

### 3. レコード構成

#### (1) 管理レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	請求期別・年	請求期別・月	請求期別・群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群	予備
5	6	2	4	4	2	1	2	1	3	1	1	480

(計、512 桁)

#### (2) 法人サービス利用者番号別内訳レコード (第 1 レコード)

法人サービス利用者番号	定期分割区分	データ種類	レコード NO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	サービス種別	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	法人サービス利用料等初日	法人サービス利用料等末日	検針日前回	検針日今回
10	1	2	2	2	10	6	1	2	11	4	4	4	4	4	4

予備	予備	予備	ご請求額	予備	請求内訳 1					請求内訳 2 請求内訳 1 6	請求内訳 1 7 ※					予備
					利用内訳コード 1	請求内訳コード 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用内訳コード 17	請求内訳コード 17	内訳金額 17	残回数 17	税区分 17	
10	10	35	10	5	2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512 桁)

※請求内訳は、1 レコード最大 1 7 内訳まで収容します。同一法人サービス利用者番号で 1 8 内訳以上の請求内訳がある場合、1 8 内訳目以降は、第 2 レコード以降に収容します。

## (3) 法人サービス利用者番号別内訳レコード2 (第2レコード以降)

予備	サービス種別	減算不能区分	部課別コード	ご請求番号	レコード数	レコードNO	データ種類	定期分割区分	法人サービス利用者番号
105	2	1	6	10	2	2	2	1	10

請求内訳1					請求内訳2 請求内訳16	請求内訳17※					予備
利用内訳コード1	請求内訳コード1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用内訳コード17	請求内訳コード17	内訳金額17	残回数17	税区分17	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512桁)

※同一法人サービス利用者番号で、請求内訳が18内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については第2レコードと同一となります。

## (4) 請求書作成番号合計レコード (第1レコード)

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	日	法人サービス利用料等初日	日	法人サービス利用料等末日	検針日前回	検針日今回	予備	予備	予備	請求金額合計
10	1	2	2	2	10	6	14	4	4	4	4	4	4	4	4	10	10	35	10

請求件数	金融機関コード	口座番号	口座名義	予備	送付先氏名	予備
8	7	8	40	5	40	268

(計、512桁)

(5) 請求書作成番号合計レコード2 (第2レコード以降)

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備
10	1	2	2	2	10	6	108

請求内訳1					請求内訳2 請求内訳16	請求内訳17※					予備
利用内訳コード1	請求内訳コード1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用内訳コード17	請求内訳コード17	内訳金額17	残回数17	税区分17	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512桁)

※同一請求番号で、請求内訳が18内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については、第2レコードと同一となります。

(6) 会社合計レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	会社合計請求金額	会社合計請求件数	予備
5	6	2	4	12	8	475

(計、512桁)

## 4. レコード内容

## (1) 管理レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	会 社	コ ー ド	文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：「30009」
2	予	備	文字	6	
3	デ	ー タ 種 類	文字	2	「01」を設定
4	予	備	文字	4	
5	請 求 期 別	年	文字	4	西暦4桁で記録
6		月	文字	2	「01」～「12」を設定
7		群	文字	1	「1」～「6」 (コード表「項番5、料金群・詳細群」参照)
8	媒 体	通 番	数字	2	「01」を設定
9	網	種 別	文字	1	「7」を設定
10	媒 体	識 別	文字	3	FDの場合 … 「FD△」 MOの場合 … 「MO△」 CD-Rの場合 … 「CDR」 ビリングステーション（注1）をご契約の場合… 「BS△」
11	請 求	回 数	文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した回数 (料金群変更時等) ＊ 再発行は対象外 ＊ 回数は0から起算
12	詳 細	群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、「1」～「9」で設定 (コード表「項番5、料金群・詳細群」参照)
13	予	備	文字	480	

(注1)：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

## (2) 法人サービス利用者番号別内訳レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	法人サービス利用者番号	文字	10	10桁以内の場合・・・そのまま利用者番号を設定。 10桁以上の場合・・・P13参照
2	定期分割区分	数字	1	「0」を設定
3	データ種類	数字	2	「11」を設定
4	レコードNo	数字	2	同一電話番号内でのレコードNoを設定
5	レコード数	数字	2	同一電話番号内でのレコード数を設定
6	ご請求番号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
7	部 課 別 コー ド	数字	6	お客様が法人サービス利用者番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合：「000001」～「999999」 設定なしの場合：「000000」
8	減算不能区分	文字	1	(コード表「項番1、減算不能区分コード」参照)
9	サービス種別	文字	2	法人サービス サービス種別名を設定。 (コード表「項番6、非電話サービス種別」参照)
10	予 備	文字	11	
11	ご利用期間等初日	数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例：初日 10月 1日 → 「1001」 末日 10月 31日 → 「1031」
12	ご利用期間等末日	数字	4	
13	法人サービス利用料等初日	数字	4	
14	法人サービス利用料等末日	数字	4	
15	検 針 日 前 回	数字	4	オールゼロを設定
16	検 針 日 今 回	数字	4	
17	予 備	数字	10	
18	予 備	数字	10	
19	予 備	文字	35	
20	ご 請 求 額	数字	10	該当法人サービス利用者番号の請求金額を設定 例：5250円の場合→「0000005250」 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6項(P14、15)内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
21	予 備	文字	5	

次項へ続く

## (2) 法人サービス利用者番号別内訳レコードの続き

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
22	請求内訳1	利用内訳コード1	数字	2	(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請求内訳コード1	文字	4	(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6項(P14、15)内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番4、税区分コード」参照)
23 ～ 37	請求内訳2 ～ 請求内訳16			315	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定
38	請求内訳17	利用内訳コード17	数字	2	(請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は「(3) 法人サービス利用者番号別内訳レコード2」に編集)
		請求内訳コード17	文字	4	
		内 訳 金 額 17	数字	10	
		残 回 数 17	文字	3	
		税 区 分 17	数字	2	
39	予 備		文字	14	



(3) 法人サービス利用者番号別内訳レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	法人サービス利用者番号		文字	10	10桁の場合・・・そのまま利用者番号を設定。 11桁以上の場合・・・P13参照
2	定期分割区分		数字	1	「0」を設定
3	データ種類		数字	2	「11」を設定
4	レコードNo		数字	2	同一法人サービス利用者番号でのレコードNoを設定 例：「02」～「99」
5	レコード数		数字	2	同一法人サービス利用者番号でのレコード数を設定
6	ご請求番号		数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
7	部 課 別 コー ド		数字	6	お客様が法人サービス利用者番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合：「000001」～「999999」 設定なしの場合：「000000」
8	減算不能区分		文字	1	
9	サービス種別		文字	2	法人サービス サービス種別名を設定。 (コード表「項番6、非電話サービス種別」参照)
10	予 備		文字	105	
11	請求内訳1	利用内訳コード1	数字	2	(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請求内訳コード1	文字	4	(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6項(P14、15)内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番4、税区分コード」参照)
12 ～ 26	請求内訳2 ～ 請求内訳16			315	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定
27	請求内訳17	利用内訳コード17	数字	2	(請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は「(3)法人サービス利用者番号別内訳レコード2」[第3レコード(レコードNo「03」)以降]に編集)
		請求内訳コード17	文字	4	
		内 訳 金 額 17	数字	10	
		残 回 数 17	文字	3	
		税 区 分 17	数字	2	
28	予 備		文字	14	

## (4) 請求書作成番号合計レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号		数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予	備	文字	1	
3	デ ー タ 種 類		数字	2	「51」を設定
4	レ コ ー ド N O		数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定
5	レ コ ー ド 数		数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予	備	文字	10	
7	部 課 別 コ ー ド		数字	6	オールゼロを設定
8	予	備	文字	14	
9	ご 利 用 期 間 基 本 料 等 初 日		数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例：初日 10月 1日 → 「1001」 末日 10月 31日 → 「1031」
10	ご 利 用 期 間 基 本 料 等 末 日		数字	4	
11	法人サービス利用料等初日		数字	4	
12	法人サービス利用料等末日		数字	4	
13	検 針 日 前 回		数字	4	オールゼロを設定
14	検 針 日 今 回		数字	4	
15	予	備	数字	10	
16	予	備	数字	10	
17	予	備	文字	35	
18	請 求 金 額 合 計		数字	10	請求書作成単位の請求金額を設定 例：100000 円の場合→ 「0000100000」
19	請 求 件 数		数字	8	請求書作成単位の法人サービス 利用者番号数を設定 例：100 回線の場合→ 「00000100」
20	口座振替	金 融 機 関 コ ー ド	文字	7	口座振替の場合、金融機関コードを設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
21		口 座 番 号	文字	8	口座振替の場合、口座番号を設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
22		口 座 名 義	文字	40	口座振替の場合、半角カナ左詰めの口座名義を設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
23	予	備	文字	5	
24	送 付 先 氏 名		文字	40	請求書送付先名を半角カナ左詰めで設定
25	予	備	文字	268	

## (5) 請求書作成番号合計レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ご	請 求 番 号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予	備	文字	1	
3	デ	ー タ 種 類	数字	2	「51」を設定
4	レ	コ ー ド N O	数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定 例：「02」～「99」
5	レ	コ ー ド 数	数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予	備	文字	10	
7	部	課 別 コ ー ド	数字	6	オールゼロを設定
8	予	備	文字	108	
9	請求内訳1	利用内訳コード1	数字	2	(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請求内訳コード1	文字	4	(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6項(P14、15)内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番4、税区分コード」参照)
10 ～ 24	請求内訳2～請求内訳16			315	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、スペースを設定
25	請求内訳17	利用内訳コード17	数字	2	(請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は「(5) 請求書作成番号合計レコード2」[第3レコード(レコードNo「03」)以降]に編集)
		請求内訳コード17	文字	4	
		内 訳 金 額 17	数字	10	
		残 回 数 17	文字	3	
		税 区 分 17	数字	2	
26	予	備	文字	14	

## (6) 会社合計レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	数字	5	お客様を識別するコードを設定 例：「30009」
2	予 備	文字	6	
3	デ ー タ 種 類	数字	2	「91」を設定
4	予 備	文字	4	
5	会 社 合 計 請 求 金 額	数字	1 2	会社コード単位の請求金額合計を設定 例：1000000 円の場合→ 「000001000000」
6	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	8	会 社 コ ー ド 単 位 の 法 人 サ ー ビ ス 利用者番号数合計を設定 例：10000 回線の場合→ 「00010000」
7	予 備	文字	4 7 5	

## 5. 法人サービスの利用者番号の収録について

法人サービス利用者番号欄へは、利用者番号が10桁を超えた場合、以下の通り編集して出力いたします。

### 《編集条件》

お客さまがご締結されている契約に応じた法人サービスのサービス種別コード(コード表に記載)を出力し、残りの桁を全て"0"埋めを行ったコードが出力されています。

変換方法は次のとおりです。

<u>XX</u>	<u>00000000</u>	
└───┬───┐		サービス種別コード
	└───┐	全て"0"埋め

## 6. 内訳額マイナス時の記録形式について

(1) IBM (EBCDICコード)											
(例)											
マイナス 金 額	表示 形式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
-100	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D0
-101	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D1
-102	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	K
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D2
-103	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	L
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D3
-104	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	M
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D4
-105	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	N
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D5
-106	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	O
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D6
-107	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	P
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D7
-108	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	Q
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D8
-109	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	R
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D9

注、F0～F9：数字「0」～「9」の16進数表示。  
D0～D9：マイナスサイン付き数字「0」～「9」の16進数表示。

## (2) DOS (JIS8コード)

(例)

マイナス 金 額	表 示 形 式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
－１００	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	０
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	30
－１０１	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	１
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	31
－１０２	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	２
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	32
－１０３	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	３
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	33
－１０４	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	４
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	34
－１０５	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	５
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	35
－１０６	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	６
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	36
－１０７	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	７
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	37
－１０８	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	８
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	38
－１０９	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	９
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	39

注、2D：マイナス「－」の16進数表示。30～39：数字「0」～「9」の16進数表示。